

『ボランティア入門講座』 を開催しました

令和2年10月24日、させぼ市民活動プラザにて『ボランティア入門講座』を開催しました。

高校生から80代の方まで幅広い年齢層の13名が受講され、ボランティア活動についての基礎知識や心構え、現在募集中のボランティア情報などをお伝えしました。

参加者からは「ボランティアの種類が色々あることを具体的に知ることができてよかったです。自分にもできそうな活動をしてみたいです」などの感想をいただきました。



講座の様子

活動のステップアップを応援します！ 登録ボランティアグループの皆さん 研修費補助金を申請しませんか！

ボランティアセンターに登録している、ボランティアグループの活性化を図ることを目的に補助金を交付します。

対象団体

- 当センターに登録して1年以上の団体

対象となる経費

- 参加した研修会の参加費（交流会を除く）
旅費（公共交通機関利用）、宿泊費など
- グループが実施する研修会の講師謝金、
資料作成費、会場費など

申請方法

交付申請書に必要事項を記入し、経費を証する書類及び研修資料等を添付してボランティアセンターへ提出してください。
※1グループ7万円を上限に申請できます。

研修行って、
開いてスキル
アップ!



2020年度 第5号
令和2年12月1日

ボラセン情報局



ボラセン情報局では、ボランティアセンターの情報を皆さんにお届けします！今回は、佐世保市社会福祉協議会へ実習に来ていた長崎国際大学3年生 百武 孝太郎さんに『あなたにとってボランティアってどんなもの？』とお話を聞いてみました。

私はボランティアを、「してあげている」ではなく「このような体験をさせていただいている」との思いで活動しています。

ボランティアの依頼がなければ、その行事などが行われていることすら知ることができなかつたからです。

さらにボランティア活動は、地域や施設の特性、様々な人との関わり方や大勢の前での話し方など数多く学べ、同じボランティアに何度参加しても、新たな発見があります。

無駄になる活動は何一つなく、恐れずに踏み出していくことが自身の成長につながると信じて、これからもボランティアを続けて行きたと思います。



長崎国際大学3年生
百武 孝太郎 さん

ボランティア活動についてしっかりした考えを持たれていて、とても頼もしく思いました。百武さん、インタビューに答えていただきありがとうございました。



ボランティアを“体験”してみませんか！

ボランティアチャレンジ2020

詳しくは掲載記事『ボランティアチャレンジ2020開催中です！』をご覧ください。

佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)
〒857-0864 佐世保市戸尾町5-1 させぼ市民活動交流プラザ1階
TEL: 0956-23-3905 / FAX: 0956-42-0102 E-mail: kureyon@sasebo-shakyo.or.jp
時間/10:00~18:45(火~土) 10:00~17:00(日)
休館日/月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日

◆特集◆
気軽に自宅でもできるボランティアの紹介
「収集ボランティア」

たのしみ



ボランティアチャレンジ
公式キャラクター『ポピー』



気軽に自宅でもできる『収集ボランティア』



現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、人と接するボランティア活動が思うように行えない日々が続いています。

そこで今回は、自宅に居ながら手軽にできるボランティア活動の『収集ボランティア』をご紹介します。

収集ボランティアとは、普段は捨ててしまう「使用済み切手」や「空き缶のプルタブ」を集める活動です。

これらはお金や品物と交換されることにより、各種福祉活動に役立てられます。

『使用済み切手』の集め方

●普通切手●

- ・切手と消印の周りを1cm程度残してください。
- ・消印の日付と地名が判別できるようにしてください。
- ・長い消印は、日付と地名が1ずつ残るように切ってください。



1cm 余裕を持って



長いところはカット

●記念切手・キャラクター切手・外国の切手●

- ・切手の目打ち（外側のギザギザ）を切らないように注意してください。
- ・記念切手の場合は、消印の有無は問いません。



×収集対象外のもの×

- ・普通切手の消印が切り取られているもの
- ・官製ハガキの印刷された切手部分
- ・切手の代わりに押されたスタンプやシールなど



消印が切れている



切手では無い

空き缶のプルタブ(プルリング)

集まったプルタブは、車椅子に交換してもらうためリサイクル業者へ送ります。（車椅子1台あたり600Kg～1100Kgが必要です。）

●収集対象となるもの● アルミ製のプルタブ

（※磁石に付くスチール製のものは収集対象外です。）

- ・袋・箱などに入れてお持ちください。
- ・異物・汚れ等の除去をお願いします。



専門の業者に交換してもらいます。



実際に交換された車椅子

集めていただいたものは佐世保市ボランティアセンター、または佐世保市社会福祉協議会の窓口で随時受け付けています。皆さまのご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



この情報紙は「赤い羽根共同募金」の配分を受けて作成しています。

『ボランティアチャレンジ2020』開催中です!



このイラストが目印です!

誰でも気軽にボランティア活動を体験していただける“サマーボランティア・キャンペーン”が、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により“ボランティアチャレンジ2020”として、期間と名称を変更して開催中です。

『自分がやってみたい活動を選んでボランティア活動を体験できる』企画です。コロナ禍ではありますが、十分な感染対策を行ってボランティア活動を体験してみませんか! ボランティアセンターや社会福祉協議会で配布されているガイドブックをご覧ください。

【体験期間】令和2年10月1日～令和3年3月31日

【体験内容】施設利用者とのふれあいや、介助等の手伝い ほか

【その他】活動諸経費（ボランティア保険、交通費、昼食代等）は、原則として参加者の負担となります。

★右のQRコードからインターネットでも、ガイドブックの閲覧と活動の申し込みができます。★



【QRコード】



ボランティア実践講座を開催しました

令和2年10月15日、させば市民活動交流プラザにて『ボランティア実践講座』を開催し、ボランティア活動者14名が参加されました。

当日は、佐世保警察署 生活安全課 生活環境係 巡査部長 原田 祐史 氏をお迎えして、“悪質商法・特殊詐欺の現状と対処法について”をテーマに、県内で実際に起きた高額詐欺被害の手法と、被害に遭われた方の心理状態を紹介して、被害防止と注意喚起の講話が行われました。

原田氏は「誰にも相談できなくするのが詐欺の手口です。第三者の目から見たら必ずおかしいところに気づきます。なにか困った時には家族や地域の人、警察等の誰かに相談する事が重要です」と話されました。

道であった人に挨拶をしましょう。それだけで悪い人たちは地域のつながりを感じて犯罪の抑止になります!



佐世保警察署 生活安全課 巡査部長 原田 祐史 氏



今回も感染防止のため参加者人数を普段の半分にしていた。

参加者からは「自分は大丈夫と思っていましたが、詐欺のたくみなやり方に、もっと用心してすぐに相談することを学びました」などの感想をいただきました。

2019年に長崎県内で発生した特殊詐欺は36件、被害総額は2億583万円という、身近で起きている被害が大きい犯罪です。

日頃から地域や家族同士で声を掛け合い、被害を防いで行きましょう。

